



三気の門 PORTAL SANKI

NO.33

2026.1.14

文責：佐藤正一

保見中生は面接に強い？

～衣台高校との連携入試に向けての取組から～

保見中学校は愛知県の教育政策の一環として行っている『中高一貫校』の中で、
連携による中高一貫校です。連携先は愛知県立衣台高校です。本年度の入試から、
保見中学校の生徒だけが受験できる『連携入試』という方法で、入学できます。

連携入試は衣台高校との交流授業で培った『多文化共生』をテーマにした学び
を、資料を基にスピーチして、その内容と態度、調査書で合否が決まります。これは
附属中学校から高校へ進学するのと同じで、中学校でしっかりと学んだ生徒なら、
全員が衣台高校へ入学できることになります。

衣台高校は愛知県下の有力企業への就職や私立大学の指定校推薦枠をもって
おり、それを目的にするならよい選択先と思います。「いや、うちの子は衣台高校に
行かないから関係ないよ」「多文化共生を学んだところで……」という考えもある
かもしれませんが、例えば、衣台高校以外の学校を志望する際にも保見中学校で
「多文化共生」を学んだことは、その学校の試験を受けるにあたり大きなアドバン
テージになると思います。なぜなら、公立高校の推薦入試では、面接試験が行われ
ます。特に競争が激しい進学校では、生半可な経験や業績では、他の受験生を超え
ることは至難の業です。しかし、ここで「多文化共生」で学んだ体験の話をしたら
どうでしょうか。外国人とのかかわり、難しさ、その可能性を中学生の視点で語っ
たら、他校の生徒にないアピールとなります。

今、私立高校の推薦入試の準備、公立高校の
推薦希望を受け付けている時期ですが、多くの
生徒が一般入試の前に自分の進みたい高校の
合格を勝ち取ることと思います。今年度の保見
中学校の目標は「夢をかなえる学校」。多くの
生徒が夢に向かってはずみをつけて欲しいと願
っています。

